

シンポジウム開催のご案内

<皆様>

2013年10月10日

公益財団法人 新聞通信調査会

中国より著名学者、報道関係者らを招き
『日中関係の針路とメディアの役割』と題し
基調講演、討論会を開催します。
11月12日(火) 13:30~17:00 (受付 13:00~)
経団連ホール

公益財団法人 新聞通信調査会は、11月12日(火)に「日中関係の針路とメディアの役割」と題し、シンポジウムを開催する運びとなりました。

このシンポジウムは、昨年に国交正常40周年を迎えながら尖閣諸島問題などで最悪の状態に陥った日中関係の打開に向けて、両国のメディアが果たすべき役割を共に考えようとの趣旨で開催されます。シンポジウムは日中両国語の同時通訳で進行し、丹羽宇一郎・前駐中国大使、朱鋒・北京大学国際関係学院教授の基調講演と、両国の記者らをパネリストに招いたディスカッションで構成されます。

朱教授は国際安全保障が専門で、「日中両国政府とも相手に対する政策で失敗を犯した。それを互いに認め合うことがまず必要だ」と主張。また丹羽氏は大使当時、東京都による尖閣諸島の購入計画に対し「実行されれば日中関係に重大な危機をもたらす」と反対を明言したのは記憶に新たところです。パネリストのうち北京の新聞「新京報」の于徳清・評論部副編集長は昨年9月に理性的な愛国主義を国民に訴える社説を執筆。佐藤千歳さんは元北海道新聞北京支局長で、中国のネット世界を熟知しているなど、事態打開へ向けて、かみ合った論議が期待されます。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本件何卒ご出席賜りますよう別紙の通りご案内申し上げます。

尚、誠に勝手ではございますが、参加をご希望の場合は葉書、FAX またはホームページ上のサイトからお申し込み下さい。詳細は別紙をご参照下さい。申し込みの締め切りは10月25日(金)までとなります。応募者多数の際は抽選となります。よろしくご願ひ申し上げます。